

平成１９年度第２回津市入札等監視委員会議事概要

日時 平成１９年８月２４日（火）午後２時から３時30分まで
会場 津市庁舎４階庁議室
出席者 月岡存 委員長（三重大学大学院生物資源学研究科教授）
伊藤庄吉 委員（行政書士）
滝澤多佳子 委員（税理士）
西川源誌 委員（弁護士）
土方良明 委員（公認会計士）
事務局 副市長、財務部長、契約財産課長ほか２人
議題及び審議の概要

１ 入札・契約に関する報告について

（１）入札及び契約手続の運用状況

Q 「中止」とは？

A 公募型指名競争入札において、参加者が３者に満たなかったもので実施要領第６条により、中止としました。

Q 参加意思確認型で、どうして応募がなかったのか。

A 当該飛行場灯台の取替修繕が可能と思われる業者を指名しましたが、応募はありませんでした。その理由までは、把握しておりません。その後の処理としましては、７月に随意契約として発注しております。

Q 中止の案件のその後は？

A 参加意思確認型指名競争入札により、１３者が参加し７月３日に契約しています。

Q 参加意思確認型は１者でも競争になるのか。

A 公募型は条件を付した上で、広く参加を求めているので、競争性を確保するために３者以上の応札を必要としています。これに対し参加意思確認型は、こちらが参加業者を指名しており、その施工能力を認めているので１者以上で成立としています。

Q 参加意思確認型で１者だけの参加の場合、「自分のところだけ」ということは、分かっているのですか？

A 分かりません。

Q 公募型では２者しか応募がなかったのに、参加意思確認型では１３者の入札参加があったのは、何故か。

A 管Ａでの発注機会が少ないことから、公募型の場合は業者が発注状況を把握していない可能性があります。参加意思確認型の場合は、参加業者を指名するので、入札参加者が多いものと思われます。

（２）指名停止措置等の運用状況

Q 特になし。

2 入札等監視業務について（入札・契約抽出事案の審議）

(1) 平成19年度下建公補第1号 合流式下水道緊急改善事業放流渠築造工事
＜条件付一般競争入札 工事＞

Q 最低制限価格は70%というのではなくて、工事に応じて70%程度になっていると考えていいのか。

A 他市においても最低制限価格制度が採用されており、予定価格に対する割合は3分の2から85%の範囲で、工事の内容に応じて設定しています。本市の場合も一律に決めているのではなく、その割合に幅があります。

* 本件については適正に処理されているものと認める。

(2) 平成18年度下建公補第49号 津北部第5処理分区公共下水道工事（その2）

＜公募型指名競争入札 工事＞

Q 落札率が似通っているが、最低制限価格の設定の仕方によって、似通ってくるのか。

A 土木一式工事におきましては、落札額が最低制限価格に近接しており、過激な競争が行われているものと推測されます。本来の競争は予定価格と最低制限価格との間で行われるものですが、競争が激しくなると、受注することが目的となってきます。低価格での競争について、意見も出てきており、どこが適正な価格なのかについては難しい問題です。

Q 他市の状況で、松阪市は予定価格を低めに設定していましたね。

A 松阪市は設計金額を事前公表しており、これにくじで決定した掛け率を乗じて予定価格を算定しています。この予定価格の85%が工事の場合の最低制限価格となります。

Q 工期が9月28日限りとあるが、1日で工事が終わるのか。

A 9月28日までという意味です。こういう表現を用いています。

Q 業者は積算の努力よりも、最低制限価格を探り当てることに一生懸命になっているふしがあると思われるのですが。

A 落札率を見て、土木一式についてそのように感じています。建築一式は8割程度になっています。昔は予定価格をめぐる競争で、今は最低制限価格に集中している。工事の品質を確保し、必要以上の過当競争を避けるためにも、適正な最低制限価格について検討していきたいと思えます。

* 本件については適正に処理されているものと認める。

(3) 平成19年度営教総第1-8号 津市立橋北中学校耐震補強計画業務委託
＜公募型指名競争入札 委託＞

Q 無効の理由が技術者を専任で配置できないためということですが、こ

れは事前に申し出があったのですか。

A 同日に行われた前の開札で落札した業務委託と、配置技術者が重複していたことによるものです。

Q 県とか他市で工事をしているでもいいのか。

A コリンス登録等の情報により、他の工事に配置されていることが判明した場合は、入札に参加できません。

Q 技術者がかぶる可能性があっても、複数の案件に応募することはできますか。

A 応募の機会があります。

Q 技術者が一人の業者で複数の案件を落札できる権利があるときに、案件を選択する余地はあるのか。

A 開札時刻の先のものから決定としますので、案件を選択できません。

* 本件については適正に処理されているものと認める。

(4) 平成19年度営教総第1号 津市立大里小学校改築工事に伴う校舎等解体工事

<参加意思確認型指名競争入札 工事>

Q 不適正なような結果となっている。原因は何か？

A この工事につきましては、人件費の占める割合が高いことから最低制限価格が高くなったことと最低制限価格を探り当てることに関心が行き過ぎた結果ではないかと考えています。

Q 落札業者がもし、予定価格で入札していても落札となるのですね。

A 結果論ですが、そうなります。

Q 人件費が高いということですが、業者も見返りがあれば安くできると思います。解体によって生ずる鉄くず等の有価物の収入は、最低制限価格を考えるに当たって考慮されているのか。

A コンクリートがら、鉄くず等について、直接工事費の減ということで、結果として考慮していることとなります。

Q 何かしら、方策めいたものを考えているか。

A 今のところ、これといったものは持ちえておりません。予定価格に対する最低制限価格の率の数字だけが先行しており、これを改めるような方策を講じていく必要があると思います。計算式の公表、市場の実勢価格を反映できる変動型も参考にしていきたいと考えております。

* 本件については適性に処理されているものと認める。

(5) 平成18年度下建公補第1 - 17号 津第5 - 4処理分区公共下水道実施設計(詳細)業務委託

<参加意思確認型指名競争入札 委託>

Q 最低制限価格と同額が3者、うまく当たったというところですか。

A こういう形のものが、土木コンサルタントで数回、続いています。入

札金額が最低制限価格と同額で、落札者をくじで決定しております。

Q 低いところで並ぶのは、問題にすべきものではない。業者にとってはきついかもしれないが。高いところで並べば、これは問題にすべきだが。

Q しゅんせつの場合は、落札率が98%と高いところで並びますね。

A 土木コンサルタントは、低い最低制限価格をめぐって、激しい競争が行われています。コンサルタント業務は、人にかかるところが大きいので、最低制限価格を見直していきたいと考えております。

* 本件については適性に処理されているものと認める。

(6) 平成19年度林振第2号 中村町地内山腹亀裂地すべり緊急対策工事
< 随意契約 >

Q 地理状況を把握し、緊急対応が可能な業者は契約業者だけですか。

A 契約業者は農林水産部からの内申があり、現場の地理に明るく、施工能力があり、緊急対応が可能であることから、随意契約の相手方として選定しました。

Q 切りのいい金額となっていますが、いかがですか。

A 業者が積算した結果であると考えます。随意契約の場合、競争入札と違う部分があります。

Q 土木一式でいいのですか。

A 大型土のうを500袋積む内容で、土木作業です。

* 本件については適正に処理されているものと認める。

3 その他

次回の会議の日程について

平成19年10月22日(月)午後2時から(詳細は後日事務局から連絡)と決定した。

抽出工事の概要

No. 1

件名	平成19年度下建公補第1号 合流式下水道緊急改善事業放流渠築造工事
落札者	安濃建設(株)
業種(格付)	土木一式 (A1)
施工場所	津市丸之内ほか2町地内
工期	平成19年6月22日 から(250日間)
工事概要	補助対象工事 内径1,350mmヒューム管推進工 528m 立坑工 2箇所 組立マンホール工 1箇所 市単独工事 附帯工 一式
入札方法	条件付一般競争入札
入札日時	平成19年5月9日 13時30分
入札参加資格要件	地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4の規定に該当しない者 津市建設工事等条件付一般競争入札実施要領(平成18年1月1日施行。以下「要領」という。)第4条第1項に掲げる要件を備えている者 要領第4条第2項各号の一に該当しない者 本市の区域内に本店を有する者 建設業法(昭和24年法律第100号)第3条に規定する特定建設業の許可(建築一式工事業)を受けている者 現行の津市競争入札参加資格者名簿において建築一式工事を希望業種として登録されている者で、平成18・19年度一般競争(指名競争)参加資格審査申請書を提出し、受理されたもの 建築一式工事に係る格付区分がAの者 本件工事に建築一式工事の監理技術者を専任で配置できる者

予 定 価 格	266,996,000 円 (事前公表)
落 札 価 格	189,250,000 円
最低制限価格	188,732,000 円 (契約締結後に公表)
落 札 率	70.88 %

すべて税抜き

下記入札金額に1.05を乗じた金額が申込価格です。

(単位:円)

者数	入 札 者	入札金額	備考
1	(株)林組	187,590,000	失格(最低制限価格未満)
2	安濃建設(株)	189,250,000	落札決定
3	三重農林建設(株)	190,662,000	
4	藪建設(株)	191,800,000	
5	河芸建設(株)	191,970,000	
6	東海土建(株)	192,229,000	
7	(株)アイケーディ	193,720,000	
8	(株)大栄建設	194,000,000	
9	日本土建(株)	194,378,000	
10	(株)土生組	240,000,000	
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

参加資格を有すると認められない者

者数	業 者 名	理由
1		
2		
3		

抽出工事の概要

No. 2

件 名	平成18年度下建公補第49号 津北部第5処理分区公共下水道工事(その2)
落 札 者	(株)藤田組
業 種 (格 付)	土木一式 (A1、A2)
施 工 場 所	津市一身田町地内
工 期	平成19年9月28日 限り
工 事 概 要	補助対象工事 内径250mmヒューム管推進工 208m 立坑工 3箇所 組立マンホール工 2箇所 市単独工事 内径250mm硬質塩化ビニル管布設工(既設管切回し) 14m 組立マンホール工(既設管切回し) 3箇所
入 札 方 法	公募型指名競争入札
入 札 日 時	平成19年4月25日 14時30分
入 札 参 加 資 格 要 件	(1)津市建設工事等公募型指名競争入札実施要領第3条第1号から第5号までに定める要件を備えている者 (2)経営事項審査を受け経営に関する客観的事項の完成工事高を有する者 (3)市内に本店を有する者 (4)土木一式工事に係る格付区分がA1、A2の者 (5)同業種の技術者を専任で配置できる者(2級土木施工管理技士(土木)又はそれと同等以上の者)

予 定 価 格 48,635,000 円 (事前公表)
 落 札 価 格 35,386,000 円
 最低制限価格 35,378,000 円 (契約締結後に公表)
 すべて税抜き
 落 札 率 72.76 %

下記入札金額に1.05を乗じた金額が申込価格です。

(単位:円)

	入 札 者	入札金額	備考
1	(有)大村建設	35,114,000	失格(最低制限価格未滿)
2	(株)三重ロテック	35,164,000	失格(最低制限価格未滿)
3	(株)カンキョ -	35,217,000	失格(最低制限価格未滿)
4	(株)康和土建	35,260,000	失格(最低制限価格未滿)
5	(株)星山組	35,261,000	失格(最低制限価格未滿)
6	北嶋建設(株)	35,261,000	失格(最低制限価格未滿)
7	西日本住建(株)	35,261,000	失格(最低制限価格未滿)
8	勢和建設(株)	35,309,000	失格(最低制限価格未滿)
9	(株)アイケーディ	35,320,000	失格(最低制限価格未滿)
10	山岡建設(株)	35,322,000	失格(最低制限価格未滿)
11	(株)磯田土建	35,333,000	失格(最低制限価格未滿)
12	(株)大栄建設	35,334,000	失格(最低制限価格未滿)
13	(株)丸河土木	35,334,000	失格(最低制限価格未滿)
14	安濃建設(株)	35,335,000	失格(最低制限価格未滿)
15	(有)丸三建設	35,335,000	失格(最低制限価格未滿)
16	河芸建設(株)	35,340,000	失格(最低制限価格未滿)
17	(有)大森組	35,340,000	失格(最低制限価格未滿)
18	(株)林組	35,343,000	失格(最低制限価格未滿)
19	(有)小林組	35,345,000	失格(最低制限価格未滿)
20	(株)藤田組	35,386,000	落札決定
21	本堂建設(有)	35,387,000	
22	大和建設(株)	35,401,000	
23	(株)河合組	35,406,000	
24	(株)岩田組	35,406,000	
25	藪建設(株)	35,407,000	
26	(有)武智建設	35,410,000	
27	(有)松村土木	35,415,000	
28	三重農林建設(株)	35,431,000	
29	(株)近江建設	35,448,000	
30	大富建設(株)	35,450,000	
31	(株)ジェイエイ津安芸	35,456,000	
32	(株)佐南組	35,469,000	
33	東進産業(株)	35,530,000	
34	(株)マエダ組	35,600,000	
35	(株)藤谷建設	36,480,000	
36	(株)西川組	36,970,000	

参加資格を有すると認められない者		
者数	業 者 名	理由
1		
2		
3		

抽出工事の概要

No. 3

件 名	平成19年度営教総第1 - 8号 津市立橋北中学校耐震補強計画業務委託
落 札 者	(株)田端隆建築設計
業 種 (部 門)	建築コンサルタント (建築一般)
施 工 場 所	津市桜橋二丁目地内
工 期	平成19年9月5日 限り
工 事 概 要	津市立橋北中学校 耐震補強計画 一式 普通教室棟 RC造 4階 延床面積3,109m² 特別教室棟 RC造 4階 延床面積2,698m² 管理棟 RC造 4階 延床面積1,489m²
入 札 方 法	公募型指名競争入札
入 札 日 時	平成19年4月25日 14時00分
入 札 参 加 資 格 要 件	(1)津市建設工事等公募型指名競争入札実施要領第3条第1号から第5号までに定める要件を備えている者 (2)建築関係建設コンサルタント(建築一般)の営業収入金額を有する者 (3)市内に本店を有する者 (4)平成18年度公募型・地域公募型指名競争入札対象業種(建築一般)に登載されている者 (5)同業種の技術者を専任で配置できる者(一級建築士の資格を有する者)

予 定 価 格	5,279,000 円 (事前公表)
落 札 価 格	3,950,000 円
最低制限価格	2,985,000 円 (契約締結後に公表)
落 札 率	74.82 %

すべて税抜き

下記入札金額に1.05を乗じた金額が申込価格です。

(単位:円)

	入 札 者	入札金額	備考
1	田中孝建築設計事務所	3,270,000	無効(技術者を専任で配置できないため)
2	(株)田端隆建築設計	3,950,000	落札決定
3	打田設計(株)	4,400,000	
4	(株)中部都市建築設計事務所	4,480,000	
5	日新設計(株)	4,600,000	
6	藤川設計(株)	4,800,000	
7	川村建築設計研究所	4,800,000	
8	(株)サカグチ設計企画	4,880,000	
9	前川建築設計事務所	無効	金額の記載なし
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

参加資格を有すると認められない者

者数	業 者 名	理由
1		
2		
3		

抽出工事の概要

No. 4

件 名	平成19年度営教総第1号 津市立大里小学校改築工事に伴う校舎等解体工事
落 札 者	(株)アイケーディ
業 種	とび・土工・コンクリート
施 工 場 所	津市大里窪田町地内
工 期	平成19年7月31日 限り
工 事 概 要	校舎棟解体工事 一式 (RC造3階建 延床面積1,732m²) 給食棟解体工事 一式 (RC造平家建 延床面積 164m²) プール解体工事 一式 (プール:37m×21m 付属棟:CB造平家建 延床面積48m²) 体育倉庫解体工事 一式 (CB造平家建 延床面積32m²)
入 札 方 法	参加意思確認型指名競争入札
入 札 日 時	平成19年4月18日 10時00分
入 札 参 加 資 格 要 件	建設業法に基づく建設業の許可(業種:とび・土工・コンクリート)を有している者 経営事項審査を受け経営に関する客観的事項の完成工事高を有する者 同業種の技術者を有する者 同業種の希望業種欄に登載されている者 市内に本店を有する者 とび・土工・コンクリート工事に係る区分がA1の者 当該工事に類似する実績を有する者

予 定 価 格	43,630,000 円 (事前公表)
落 札 価 格	34,273,000 円
最低制限価格	32,958,000 円 (契約締結後に公表)
	すべて税抜き
落 札 率	78.55 %

下記入札金額に1.05を乗じた金額が申込価格です。 (単位:円)

	入 札 者	入札金額	備考
1	(株)芸濃	30,500,000	失格(最低制限価格未満)
2	杉田土木(株)	30,846,000	失格(最低制限価格未満)
3	(有)岡山工業	31,489,000	失格(最低制限価格未満)
4	(有)ヨシダ	31,636,000	失格(最低制限価格未満)
5	(有)奥山興業	31,660,000	失格(最低制限価格未満)
6	(株)前川商店	31,667,000	失格(最低制限価格未満)
7	(株)南山建設	31,670,000	失格(最低制限価格未満)
8	(株)大栄建設	31,675,000	失格(最低制限価格未満)
9	(株)渚興業	31,688,000	失格(最低制限価格未満)
10	別所工業(株)	31,697,000	失格(最低制限価格未満)
11	(株)ニース	31,719,000	失格(最低制限価格未満)
12	(有)丸新建設	31,763,000	失格(最低制限価格未満)
13	(株)ロッシュ	31,770,000	失格(最低制限価格未満)
14	西田興業(株)	31,828,000	失格(最低制限価格未満)
15	(株)神田組	31,870,000	失格(最低制限価格未満)
16	(株)伊勢組	32,504,000	失格(最低制限価格未満)
17	(株)西出	32,740,000	失格(最低制限価格未満)
18	(株)アイケーディ	34,273,000	落札決定
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

抽出工事の概要

No. 5

件 名	平成18年度下建公補第1 - 17号 津第5 - 4処理分区公共下水道実施設計(詳細)業務委託
落 札 者	(株)三重新成コンサルタント
業 種 (部 門)	土木コンサルタント (下水道)
施 工 場 所	津市船頭町津興ほか2町地内
工 期	平成19年8月31日 限り
工 事 概 要	補助対象業務 管渠実施設計 詳細設計(推進工法) 193m 詳細設計(開削工法) 949m 市単独業務 管渠実施設計 詳細設計(開削工法) 3,527m
入 札 方 法	参加意思確認型指名競争入札
入 札 日 時	平成19年4月18日 9時50分
入 札 参 加 資 格 要 件	土木関係建設コンサルタント(下水道)の登録を有する者 土木関係建設コンサルタント(下水道)の営業収入金額を有する者 同業種の技術者を有する者 同業種の希望業種欄に登載されている者 市内に本店を有する者 又は、市内に支店等を有し、下水道部門に係る営業収入金額が5億円以上

すべて税抜き

下記入札金額に1.05を乗じた金額が申込価格です。 (単位:円)

	入 札 者	入札金額	備考
1	内外エンジニアリング(株)三重営業所	11,270,000	失格(最低制限価格未満)
2	(株)極東技工コンサルタント三重事務所	12,489,000	失格(最低制限価格未満)
3	(株)志登茂コンサルタント	12,563,000	失格(最低制限価格未満)
4	(株)中央設計技術研究所 三重事務所	12,598,000	失格(最低制限価格未満)
5	(株)ニュージェック三重事務所	12,600,000	失格(最低制限価格未満)
6	(株)浪速技研コンサルタント津営業所	12,621,000	失格(最低制限価格未満)
7	(株)三重新成コンサルタント	12,664,000	落札決定(くじ引きによる)
8	(株)三洋開発	12,664,000	
9	(株)若鈴	12,664,000	
10	新日本設計(株)三重営業所	12,800,000	
11	(株)五星中部事務所	12,850,000	
12	日本シビックコンサルタント(株)三重事務所	12,859,000	
13	オリジナル設計(株)三重営業所	13,420,000	
14	(株)三重中央コンサルタント	13,980,000	
15	(株)オオバ三重営業所	14,100,000	
16	(株)日建技術コンサルタント三重事務所	18,700,000	
17	中央コンサルタンツ(株)三重事務所	20,500,000	
18	(株)日新技術コンサルタント三重営業所	21,400,000	
19	玉野総合コンサルタント(株)三重事務所	21,500,000	
20	日本水工設計(株)三重事務所	22,200,000	
21	(株)ウエスコ 三重営業所	22,640,000	
22	(株)日水コン三重事務所	22,850,000	
23	日本理水設計(株)三重事務所	23,890,000	
24	パシフィックコンサルタンツ(株)三重事務所	24,050,000	
25	南海カツマ(株)	24,170,000	
26	中日本建設コンサルタント(株)三重事務所	24,200,000	
27	国際水道コンサルタント(株)中部支社三重事務所	辞退	
28			
29			
30			

抽出工事の概要

No. 6

件名	平成19年度林振第2号 中村町地内山腹亀裂地すべり緊急対策工事
見積者	(有)石田建設
業種	土木一式
施工場所	津市中村町地内
工期	平成19年7月15日 限り
工事概要	L = 106.6m 大型土のう工(製作・据付) 500袋 契約期間 平成19年5月1日から平成19年7月15日まで
契約方法	随意契約
見積日時	平成19年6月20日 11時00分
随意契約理由	当緊急対策工事は、平成19年4月26日に、中村町地内の山腹に高さ最大約2m、延長約60mの亀裂が確認され、また、5月1日には山腹の一部が崩壊したため、周辺民家が被災する危険性が高いことから、大型土嚢を、市道中村線上に設置することにより、崩落土による周辺民家への被災を防ぐ緊急対策を図る必要があるため、本市の発注する工事において施工実績を有し、久居地区に本店を有し、施工現場に近く、地理状況を把握し、緊急対応が可能である当業者と地方自治法施行令第167条の2第1項第5号による随意契約。

比	率	94.20 %
---	---	---------

(単位:円)

者数	見 積 者	第1回	第2回	第3回	備考
1	(有)石田建設	5,000,000			決定